

Mini Disclosure

2023

JALしみずの概況
ミニディスクロージャー誌



ごあいさつ

組合員や地域の皆様には、平素より、ご理解・ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

日頃よりお取引をいただいております皆様に、JAしみずの経営方針や経営内容をわかりやすくご紹介するため、本年もディスクロージャー誌を作成しましたので、何卒ご高覧いただきますようお願い申し上げます。

令和4年度は、世界情勢の不安定化や円安等を背景にした燃料・原材料価格の高騰のほか、地球温暖化による大雨等の天候不順が観測されるなど、農業・JA事業を取り巻く環境のみならず、一般市民生活へも暗い影を落とす1年となりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の発生から約3年がたち、令和5年5月より感染症法上の分類が「5類」に引き下げられるなど、経済活動や社会生活においては正常化に向けた動きが加速化するものと思われ、今後、国内に限らず全世界でコロナからの回復が期待できる状況にあります。

このような中、信用事業においては、低金利環境を背景にした旺盛な住宅購入需要を取り込むことで、住宅ローンを中心に新規獲得件数を増やし、貸付金残高増加率で県下JAトップの成績を収めることができました。また、債権管理業務においては、不良債権の回収が進み、貸倒引当金を大幅に減額することができ、利益の積み増しに大きく貢献することとなりました。営農経済事業においては、天候不順により柑橘類の生産量が計画を下回ったものの、令和3年度から販売手数料率の引き上げにご協力いただいたこともあり、その影響を最小限に抑えることができました。また、肥料価格高騰対策として組合員の皆様への供給価格調整等支援に対応することができたことについても、農協全体としての収益が安定していることに他ならないことから、これまで農協事業の円滑な運営にご協力いただいたすべての組合員の皆様に感謝申し上げます。

組合員をはじめとする利用者の皆様が当JAを利用していただいた結果、当期剰余金は282百万円となりました。更に、令和5年3月期の自己資本比率は、13.21%と最低自己資本比率規制の4%を大きく上回っており、利用者の皆様に安心して利用していただける財務状態を確保しております。

最後に、JAしみずは、すべての組合員や地域の皆様に満足いただける取り組みを展開するとともに、「農協があって良かった」といわれる農協を確立し、将来にわたり安定した経営を目指してまいりますので、今後とも一層のご支援・ご理解を賜りますよう心からお願い申し上げます。



代表理事組合長
石切山 誠

令和5年7月

概要

令和5年3月末現在

設立	1972年10月1日
本店所在地	〒424-0192 静岡県静岡市清水区庵原町1番地
組合員数	正組合員 5,998人 准組合員 19,310人 合計 25,308人
出資金	28億6,684万円
役員数	理事25人 監事 6人
職員数	371人(うち正職員328人)

経営理念

私たちは、「農協があって良かった」といわれる農協を確立し、地域から愛され、組合員とともに歩む農協を樹立します。

2か年計画(令和5~6年度)

■持続可能な農業の実現に向けた「生産基盤」強化

- 【基本目標1】 産地の維持・拡大に向けて農業振興を強化します
- 【基本目標2】 農家組合員の農業経営を強力に後押しします

■不断の自己改革の実践を支える『経営基盤』の確立・強化

- 【基本目標3】 持続可能な経営基盤を確立・強化します
- 【基本目標4】 新時代に対応した総合事業改革を行います

■JA運営の好循環に向けた組織基盤の強化

- 【基本目標5】 組合員との関係強化と人づくりに取り組みます

購買事業

農業生産に必要な肥料・農薬等の資材やお米等の生活用品を提供しています。

購買品供給・取扱高 2,322百万円

販売事業

農家の皆様が生産した農畜産物を消費者の皆様にお届けしています。

販売品販売・取扱高 3,718百万円

共済事業

病気・災害・事故等万一に備えて、生命・建物・自動車共済等、安心と保障を提供しています。

長期共済保有高 634,889百万円

指導事業

組合員や利用者の皆様の農業経営や生活の向上をお手伝いしています。

その他の事業

農地整備事業 不動産事業

事業



安心の「JAバンク」システムです。

貯金残高 306,384 百万円
貸出金残高 82,421 百万円

■「JAバンク」システム

JAバンクは、貯金・ローンなど様々な金融サービスを通して皆様の暮らしをサポートします。

「JAバンクシステム」とは、静岡県下JA・静岡県信連をはじめ全国のJA・信連・農林中央金庫が実質的に1つの金融機関(JAバンク)として機能し、組合員・利用者の皆様により一層の「便利さ」と「安心」をお届けするためのシステムです。JAバンク(JA・信連・農林中央金庫)は豊富な資金量とワイドなネットワークを活かして総合金融サービスを提供し、組合員・利用者の皆様の生活の向上に取り組んでいます。

決算のあらまし

財産の状況 [貸借対照表]

資産の部

(単 位:百万円)

	2021年度	2022年度
現金	852	826
預金	206,431	191,535
有価証券	28,896	31,380
貸出金	79,172	82,421
貸倒引当金	▲ 304	▲ 233
その他資産	26,564	26,046
合計	341,611	331,975

負債・純資産の部

(単 位:百万円)

	2021年度	2022年度
貯金	314,105	306,384
諸引当金	1,699	597
その他負債	5,838	5,441
(負債計)	321,642	312,422
純資産	19,969	19,553
合計	341,611	331,975

(注)百万円未満を切り捨てて表示しているため合計に不突合があります。

預金:静岡県信連等へ預け入れて運用しています。

有価証券:国債等を購入し運用しています。

貸倒引当金:信用事業資産(貸出金)等の貸倒れに備えての準備金等です。

その他資産:土地、建物などの固定資産、未収金等の雑資産、系統機関等への出資金等です。

その他負債:借入金・未払金・仮受金等の雑負債等です。

純資産:皆さまからの出資金、法定準備金、任意積立金、当期末処分剰余金等です。

経営成績 [損益計算書]

(単 位:百万円)

	2021年度	2022年度
事業総利益	3,752	3,769
うち信用事業総利益	1,786	1,892
事業管理費	3,510	3,542
事業利益	242	227
経常利益	510	511
税引前当期利益または税引前当期損失(▲)	571	332
当期剰余金または当期損失金(▲)	607	282
当期末処分剰余金	1,328	1,394

(注)百万円未満を切り捨てて表示しているため合計に不突合があります。

事業総利益:各事業収益から各事業直接費を差し引いた金額の合計です。

事業管理費:人件費、業務費、諸税負担金、施設費等、労働や施設の管理に必要な費用です。

事業利益:事業総利益から事業管理費を差し引いた差額です。

経常利益:事業利益に受取出資配当金等の事業外収益を加え、支払利息等の事業外費用を差し引いた金額です。

税引前当期利益または税引前当期損失(▲):経常利益に固定資産処分益等の特別利益を加え、固定資産処分損等の特別損失を差し引いた金額です。

当期剰余金または当期損失金(▲):全ての収益から費用・損失・法人税等を差し引いた金額で一般企業の当期純利益に相当します。

当期末処分剰余金:当期剰余金に前期繰越剰余金などを加えた金額です。

健全経営チェックポイント

自己資本比率 [健全経営のバロメーター]

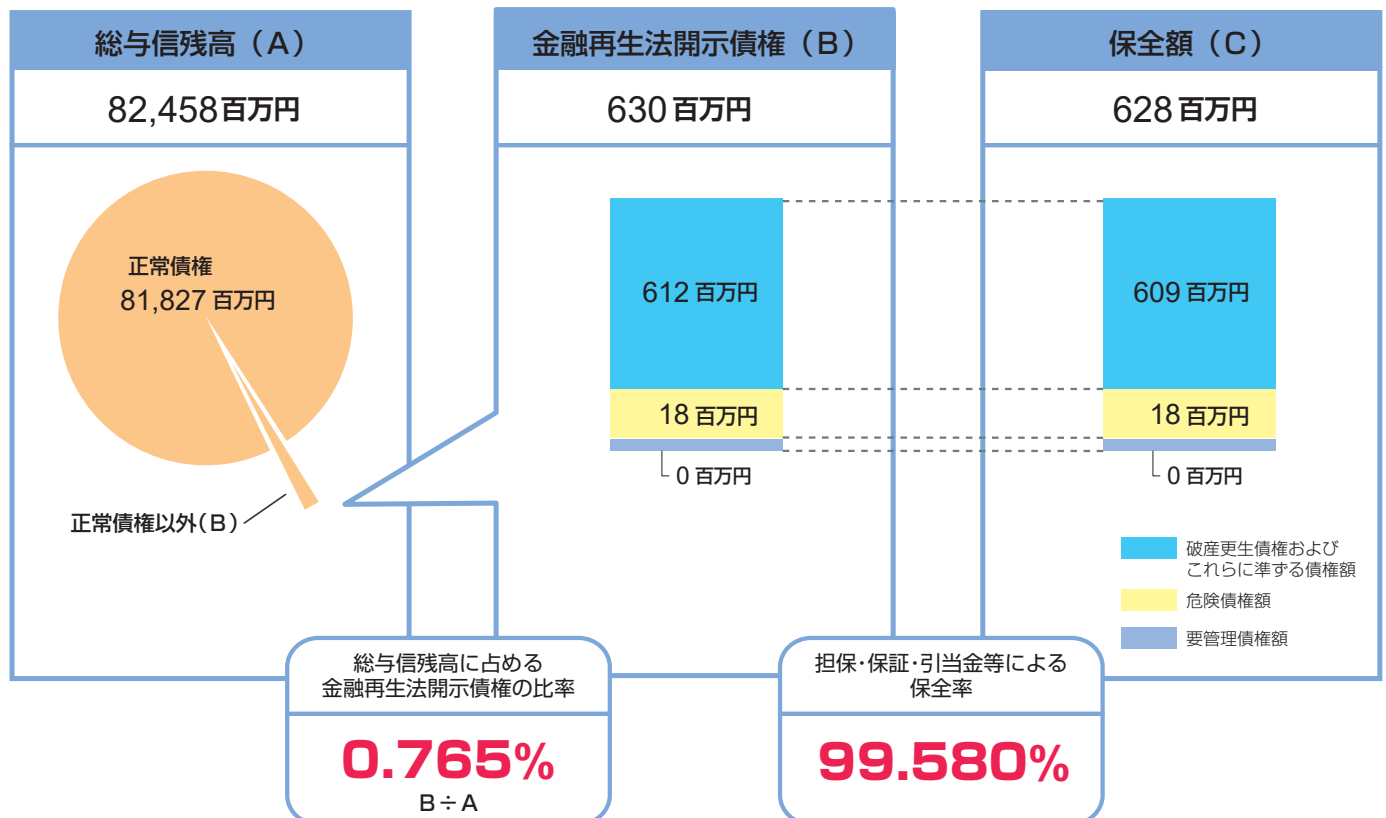
(単位:百万円)

自己資本額		19,631	A
リスク・アセット ^(注1)	リスク・アセット	141,280	B
	オペレーショナル・リスク÷8%	7,257	C
自己資本比率 ^(注2)		13.21	A÷(B+C)

(注1) BIS規制(自己資本比率規制)に定義された自己資本比率を計算する際の分母に用いる証券や債権などの各種資産のことを指します。

(注2) 万一、運用により損失が発生しても、自己資本が十分確保されていれば、皆さまからお預かりした貯金の払戻しに不足することはありません。つまり、この比率が高いほど安全性は高くなります。なお、当JAは国内業務金融機関の基準4%を大きく上回っています。

金融再生法開示債権の状況



※上記比率は貸出金等のなかにかどのくらい金融再生法の開示債権(全金融機関共通)があるかを示していますので、この比率が低いほど健全な貸出金等が多いといえます。当JAは健全な運用を行っており、堅実な経営をしています。

※貸出金等の回収が困難になるなど万が一の事態に備えて、どのくらい担保や引当金で手当て・保全ができていているかを示しています。当JAはこの率が99.580%であり、十分な保全措置をとっています。

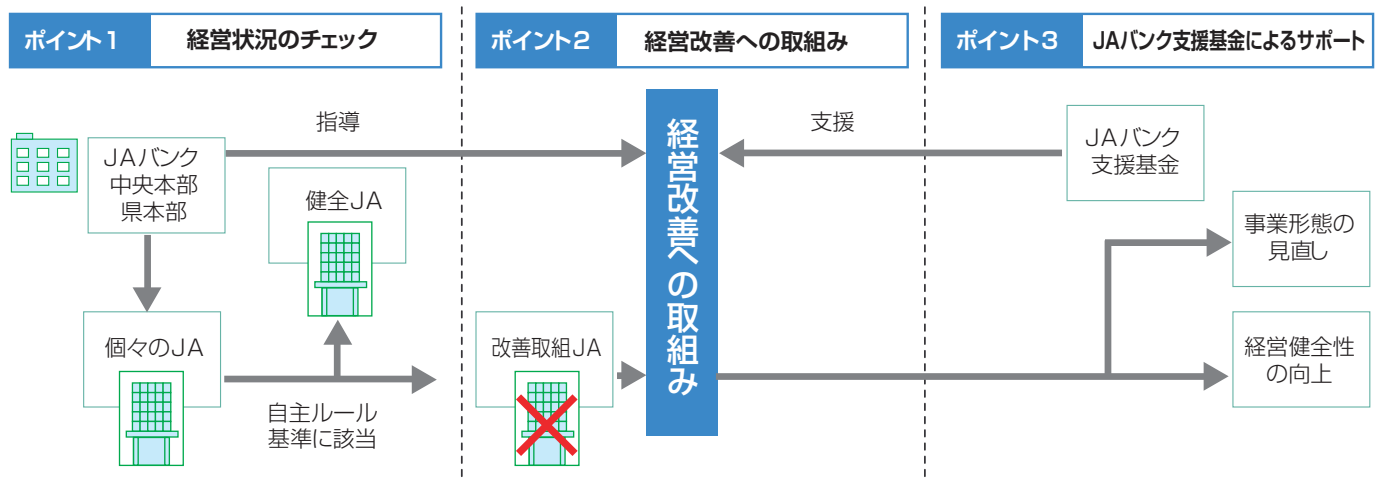
安心を支える2つの制度

セーフティーネットについて

当JAは、リスクに対応した経営と自己資本の充実に努めています。また、万が一の場合でも皆様の貯金はJAバンク制度と貯金保険制度で守られています。

安心① 破綻未然防止システム (JAバンク独自のシステムです。)

JAバンク全体で経営の健全性を確保し、組合員・利用者の皆さまに一層の安心をお届けします。



安心② 貯金保険制度 (国による公的制度です。)

貯金者を法律によって保護する保険制度です。(貯金には保険がかけられています。)

対象貯金等		対象以外貯金等
当座貯金 普通貯金 別段貯金	その他の貯金等 定期貯金、定期積金、 貯蓄貯金等	対象以外貯金等 外貨貯金、譲渡性貯金等
(注1) 決済用貯金(利息がつかない等の条件を満たす貯金)		
全額保証	合算して元本1,000万円までとその利息等(注2)	破綻農水産業協同組合の財産の状況に応じて支払い(一部カットされることがあります。)

(注1)「無利息、要求払い、決済サービスを提供できること」という3つの条件を満たすものです。

(注2) 1,000万円を超える元本とその利息等については、破綻農水産業協同組合の財産の状況に応じて支払われますので、一部カットされることがあります。

店舗一覧 市外局番(054)

本店 TEL.367-3200(代)	飯田支店 TEL.366-0217	草薙支店 TEL.345-3324
興津支店 TEL.369-1121	高部支店 TEL.346-0149	由比支店 TEL.375-2151
小島支店 TEL.393-3111	清水支店 TEL.334-2525	蒲原支店 TEL.385-2156
両河内支店 TEL.395-2221	三保支店 TEL.334-0258	ローンセンター TEL.367-3268
庵原支店 TEL.367-3229	下清水支店 TEL.352-7128	
袖師支店 TEL.365-1122	有度支店 TEL.345-4136	